

令和4年度（2022年度）兵庫教育大学附属幼稚園 経営計画

1. 兵庫教育大学の中期目標〈第4期〉及び中期計画について(附属学校)

(1) 中期目標

学部・研究科等と連携し、実践的な実習・研修の場を提供するとともに、全国あるいは地域における先導的な教育モデルを開発し、その成果を展開することで学校教育の水準の向上を目指す。

(2) 中期計画

・大学と一体となった恒常的な連携により、学びのSTEAM化、Ed-techの活用等の先導的な教育研究活動を活性化させ、幼・小・中の繋がりを意図したカリキュラム研究や実践に取り組む。

・大学と連携・実施する実地教育（教育実習）において、将来教員となる学生に対して基礎的かつ社会の要請に応じた実践的指導力を養い、かつ教職の魅力を感じられる実習の中身を検討・提供するとともに、実習指導を通して附属学校教員の力量形成に取り組む。

・個別最適な学習と協働的な学びを行う環境を作るとともに、幼・小・中において一貫した教育活動を推進し、その成果を地域に積極的に発信・公開する。また、地域のモデル校として、地域の学校や自治体との交流を積極的に行う。

2. 附属学校園共通の教育目標

大学と連携して実証的研究や実践的研究に取り組むことにより、「響き合う心を持ち、共に考えながら、たくましく生きる人間の育成」を推進する。

3. 附属幼稚園の役割・使命（ミッション）

①附属園として、幼児教育の理論と実際に関する実践研究を行う。

②附属園として、教員志望学生の実地教育（教育実習）の場として有効な機会を提供する。

③附属園として、研究や保育等の実際を公開し、これからの幼児教育のあり方について発信する。

4. 幼稚園の教育目標（育てたい幼児像）

教育基本法及び学校教育法等で定められている幼稚園教育の目的と目標の基盤の上に立ち、「心身ともにたくましい子どもの育成」を目指して、教育目標を以下のように設定する。

- ・健康な体の子ども
- ・やさしく豊かな心をもつ子ども
- ・よく考えて最後までやりぬく子ども

特に、知性・感性の基盤となる身体性（様々な動き）の習得を目指す。

5. 令和4年度の経営目標

(1) 園運営に関する目標

- ・園長のリーダーシップのもと、職員一人ひとりが明確な目的をもって協働して保育に取り組む。
- ・職員の働き方改革を念頭に、仕事内容のバランスや必要に応じた見直しを図りつつ、適正な勤務体制を整備する。
- ・新型コロナウイルス感染予防対策は継続しつつ、この2年間の経験を活かしてコロナ禍前の保育活動に可能な限り戻していく。
- ・昨年度にリニューアルしたホームページ等を積極的に活用し、保育・研究・社会貢献等について積極的に発信するとともに、定員充足に向けて対外的な広報活動に力を入れる。

(2) 教育研究活動に関する目標

- ・大学と附属が一体となった共同研究（2年目）の全体テーマのもと、園として研究を深め、その成果を公開、公表する。
- ・文部科学省等から委託された実践研究に園として積極的に取り組み、その成果をまとめる。
- ・園の教育目標、育てたい幼児像を踏まえて、幼稚園教育要領に即した教育課程・内容を着実に実施するとともに、園の特長である「うれしのタイム」における幼児の自発的な活動としての遊びを通じた教育の充実を図る。
- ・各行事においてはこれまでに囚われず工夫・検討を重ね、感染予防対策徹底のもとで積極的な推進を図る。
- ・合意的配慮の必要な園児への支援をキンダーガーデンカウンセラーと連携して丁寧に行う。
- ・昨年度から開始した実地教育（教育実習）の充実に向けた指導教員の研修を継続して実施するとともに、来年度導入の「実習ノートの電子化」について具体的検討作業を行う。

(3) 地域への貢献に関する目標

- ・保護者の子育て力向上を支援する取組や子育て環境をよりよくするための取組を、地域に向けて積極的に情報発信を行うとともに、子育て支援ルーム「かとう GENKi」との連携を図る。

(4) 他校種との連携に関する目標

- ・大学等と連携して、大学教員を招聘しての研究活動や親子活動、保育活動を計画的に推進し、日々の保育へつなげる。
- ・現在求められている小学校教育の中身に応じた日常保育の内容を考える。特に、園児が卒園後スムーズに小学校で就学できるように、附属小学校及び近隣地区小学校と情報交換を密にする。